



編集発行：福知山市ボランティアセンター  
社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会

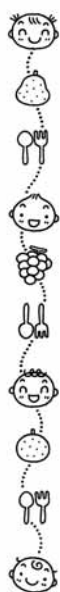
福知山市内記10-18  
福知山市総合福祉会館内  
TEL23-3573 FAX24-5282

## 介助ボランティア講座

町の中で出会った障がいのある方を手助けすることは、決して難しいことではありませんが、ほんの少し技術を知っていれば、自然にためらわずに接することができます。

10月9日に開催した介助ボランティア講座で、『共に住みやすい町づくりを！～障がいについて～』福知山市障害者生活支援センター村松充さんからお話していただき、困っている方を見かけたときに、どのように対応すればよいのか学習を深めました。

そのあと、受講者全員アイマスクを着用して食事をいただくとどんな感じなのか？？体験していただきました。



障がいは周りの環境が作り出す。周りの環境次第でクリアできると思った。

人のつながりの大切さと、相手の気持ちをよく知り、接していくことの難しさを知りました。



## 視察研修 ～ボランティアセンター～



9月4日（金）ボランティアセンターの視察研修で“舞鶴ほのぼの屋”へ行きました。  
“カフェレストランほのぼの屋”の仕事が、障がいのある方の生活の一部として位置づけられ、それぞれの自信と誇りにつながっていることを参加者全員が確認しました。  
また、ボランティアセンター運営委員だけでなく、ボランティア10名も参加し、有意義な研修になりました。



### ほのぼの屋

“ほのぼの屋”は、精神障がいの方が働くフレンチレストランです。  
おいしいフランス料理をお手軽価格で、おしゃれな雰囲気です。

### 感想

僕自身、現地に行くまで「ほのぼの屋」のことを知りませんでした。

「ほのぼの屋」の内容をDVDや施設長のお話で知った時に、様々な形で障がいのある方を受け入れることができることに、今までにない発想だなあ～と驚きました。精神障がい者の施設は、街の中心から離れた山の中にあるイメージがありました。しかし、施設長が「障がい者は施設（に閉じ込めて...）」という考え方がバリアを張っているのではないか」とおっしゃった言葉を聞いて僕自身も納得し、考え直さなければならぬ部分がありました。

また、「ほのぼの屋」の例のように障がいのある方に職員としてやりがいを持って働いてもらい、給料を渡すということは凄いことだと思います。しかし、同じことを他の地域で取り組んでも、環境や条件が異なるので成功するとは限らないので、地域の特性を活かした形を見つけ出すことが重要だと考えました。

今回の視察研修は、自分より福知山市のこと、福祉のことを知っておられるボランティア団体の方や社協の職員の方と一緒に行ったので、初めて知ったことや学んだことがたくさんありました。次回このような企画があれば、是非参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。（20代、男性）

## ほっかほかの募金 ～赤い羽根共同募金～



10月4日（日）赤い羽根共同募金の街頭啓発で、広小路・新町商店街等で募金活動を行いました。

当日は、秋晴れの下46名のボランティアのみなさんにご協力いただき、総額35,608円の募金が集まりました。寄せられた募金は、福知山市共同募金会へ納めました。



# ボランティアのつどい



福知山ボランティア連絡協議会との共催で本所支所でつどいを開催しました。内容は、それぞれ地域のボランティアの皆さんに検討していただき、楽しい“つどい”で交流を深めました。

\*\*\*9月3日実施\*\*\*

～ザ・やくの～



調理ボランティアさんにカレーライスを作っていただき皆さんで試食をしました。

その後、グループの活動報告、高齢者体験をし、全員で福知山音頭を踊って交流しました。

地域を超えて参加されたボランティアさんもあり、良い交流の場になりました。

\*\*\*10月24日実施\*\*\*

～ボランティアのつどい～

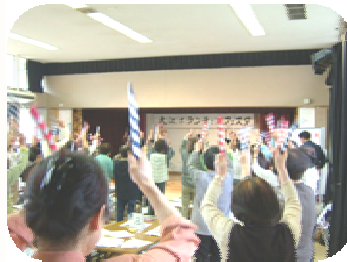


『大切な人を助けるためにできること』と題して、福知山市民病院の吉川徹二先生から、また、『楽しい老後を迎えるために』と題してNPO法人認知症予防ネット理事長の高林実結樹先生からそれぞれご講演いただき、学習しました。

いつでも、どこでも、いつまでも、元気でボランティアを続ける“秘訣”を学びました。

\*\*\*10月5日実施\*\*\*

～大江ボランティアフェスタ～



各グループの活動報告、体操の後、新聞紙で作るブローチを全員で作成しました。また、役員の皆さんが午前中から作っていた“おやつ”を試食し、交流しました。



\*\*\*10月30日実施\*\*\*

～みわの会～



グループ活動報告の後、手芸ボランティア“さつき会”の皆さんの指導で、布で作るペンダントを作りました。

また、簡単なゲームで頭の体操をしました。

# \* ボランティアミニ懇談会の報告 \*



今年度初めての取り組みとして、ボランティアミニ懇談会を開催しました。  
7月～9月の3ヶ月間で日程調整をし、7回、25団体53名のボランティアの皆さんが出席してくださいました。

懇談会の中で、朗読ボランティアさんが視覚障がいの方々に送付されてる録音テープに、点字さんが作成された点字をつけられることになりました。また、他にも“一緒に活動しましょう”という交流が、何組かできました。

参加の皆さんは“今後も懇談会は必要である”との要望が多く、来年度の開催に向けて多くの皆さんに参加していただけるような内容を検討していきます。



## 感想

アンケートの中に、“団体と個人ボランティアを分けた交流をしてほしい”とのご意見をいただきましたが、中には“団体の話を聞いて、自分も参加してみたいと思った”のご意見も……。工夫して調整します。

今後も交流会に参加して、参考になる事を学び自分を磨いていきたいと思っています。高齢であることも忘れて……。名札があると良かった。懇談会を重ねることで、失敗談や悩みなど徐々に出し合えるといいと思う。団体、個人ボランティアを分けた交流会をしてほしい。

自分の空いた時間、参加場所を選べるような交流会（懇談会）は良いと思う。少人数なので気軽に話げできた。実際に活動されている様子が見れてとても良かった。初めて会う方とも話げできて、親しみがわいた。ただ、もう少し詳しく話げできると、なお良かった。 などなど……



### \* お詫びと訂正 \*

ほっとタイム第42号の中で、施設名に間違いがありました。正しくは『社会福祉法人成光苑 若戸ホーム』です。訂正し、お詫び申し上げます。

### \* 編集後記 \*

新型インフルエンザが猛威をふるっています。学級閉鎖や学校閉鎖で、学校生活に色々な影響が出ているようです。11月・12月は行事も多く、ボランティアの皆さんにご協力いただくことも多くあります。体調管理に十分気を付けていただき、活動していただきますようお願いいたします。



\*\*\* 福知山市社会福祉協議会 \*\*\*

本所：〒620-0035 内記10-18 総合福祉会館内 TEL:23-3573 FAX:24-5282 【担当：波多野】	三和支所：〒620-1442 三和町千束375 東部保健福祉センター内 TEL:58-3713 FAX:58-3732 【担当：大槻】
夜久野支所：〒629-1322 夜久野町平野1030 ふれあいの里福祉センター内 TEL:38-9000 FAX:38-9012 【担当：藤本】	大江支所：〒620-0305 大江町波美235 老人福祉センター舟越会館内 TEL:56-0224 FAX:56-1654 【担当：松田】